

## 桐光会へのお礼メッセージ(2023 年度春学期)

---

### #1

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。コロナウイルスの影響で父が解雇となり収入がなくなりました。ハローワークに通うも高齢ということもあり就職先が決まらず、金銭的に余裕がない状況が続いていました。現在、日本学生支援機構の奨学金を借りていますが、それでも学費を払うのが難しく、私自身実習でアルバイトができないため、貯金を崩して生活しています。今回採用して頂いたことにより、経済的負担が減少し、あと1年夢を諦めることなく勉学に励むことができます。これからもご支援してくださった桐光会の皆様に感謝の気持ちを忘れず、より一層精進してまいりたいと思います。

作業療法学科 奨学生本人

### #2

この度は桐光会奨学金にご採用いただき、誠にありがとうございました。生計維持者である父が昨年肺癌と診断され、単身赴任先で手術をしました。その後は抗癌剤治療のため自宅に戻り治療を開始しましたが、現在まで入退院を繰り返しています。復職時期も未定のため、収入は「傷病手当金」のみです。さらに妹(大学1年生)もこの春から一人暮らしを始めたため、家計はひっ迫していました。そのような状況の中50万円という大きな金額をご支援いただけたことで、無理なアルバイトの掛け持ちをすることなく、卒業まで学業に専念することができます。卒業後はメディア学部で培った経験と知識を活かし、映像業界に携わりたいと考えております。また今からできることを少しでもやりたいと思い、現在動画編集のアルバイトに応募中です。父は度重なる手術で生きる気力を無くした時もあり、精神的にも金銭的にも家族全員不安でいっぱいでした。しかし今回ご支援いただけたことで、金銭的な不安は和らぎ、両親共々感謝申し上げたいと思います。

メディア学科 奨学生本人

### #3

この度は、桐光会修学支援金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。私の家庭はひとり親家庭のため、片親の収入と学生支援機構の奨学金をお借りし、大学の費用に充てておりました。学費面での不安を抱えずにはいられない厳しい経済状況だったため、今回奨学金を申請いたしました。奨学金のご支援をいただくことで、生活の中で常に考えの一部にあった学費への不安が軽減され、今後はより勉学に力を注ぐことができそうです。将来のビジョンはまだはっきりとしていません。現在のアルバイトの経験から、仕事で提供する商品を嬉しそうにお客様が購入してくださる姿が好きだと感じており、人が嬉しそうなお姿を見られる仕事に就きたいと考えの一部にあります。そして大学で多くの知識を身につけることで、どうなりたいかをはっきりしたいと考えております。このような将来を考えることができるのも、奨学金のご支援をいただけたからです。桐光会の皆様への感謝の気持ちを持ちながら、学生生活を過ごしてまいります。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

**#4**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、心から感謝しております。昨年の4月に父が他界し、大幅に収入が減少し、母のパートの収入と私のアルバイトの収入だけでは、生活費と学費を大学4年生まで払い続けることができるのか不安に思っている所でした。大学3年生になり、毎日学業に励みながらアルバイトやこれからの就職活動にしっかりと取り組むことが出来るように精進していきたいと思えます。昔から人の役に立てるような仕事がしたいと思っていたので、そういった職業に就いて、親孝行ができるようにがんばっていきたくと思えます。今回、桐光会修学支援金に採用して下さった皆様に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。3年生の春学期も中盤に差しかかり、単位の取得には余裕がありますが、それに甘えることなく少しでも良い評価を得ることが出来るように日々の課題や中間・期末のテストにも全力で取り組みたいと思えます。社会で活躍できる人になれるように努力していきます。

地域社会学科 奨学生本人

**#5**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。昨年両親が離婚し私は母側についたため収入が激減してしまいました。また中高生の妹が二人いて、二人ともこれから進学を考えていたため私だけに学費をかけることは難しく困っていたため奨学金を採用していただけたことで不安が軽減しました。一人暮らしでもありお金がかかりやすいため、母に負担がかからないように自分でできることはしようと意識しております。私は現在4年生で内定もいただいているため国家試験合格に向けて勉学に励み、卒業論文などを通して目白大学で学んだ看護を将来生かすことができるようにさらに看護を深めていきたいと考えております。

看護学科 奨学生本人

**#6**

この度は、桐光会奨学金に採用いただき、誠に感謝しております。私は母子家庭であり、学費について母親に頼ることは難しいと理解していました。そのため入学当初から日本学生支援機構の奨学金を申請し、第1種と第2種を併用して利用しています。しかし資格課程として実習を行ったり、大学4年生として就職活動や卒業研究論文執筆に向けた準備等を行ったりと、それまでの大学生活とは状況が大きく変化しました。これらの影響により、現在行っているアルバイトの出勤数が減り、理想通りの収入を得ることが難しくなりました。今回、経済的負担を少しでも軽くするため、桐光金奨学金を申請しようと考えました。今回、採用されたことで負担は軽くなりましたが、経済面でのすべての不安要素が解消されたわけではありません。しかしこれも現実だと受け止め、採用に安心感を覚え、大学生としての残りの活動に専念していこうと思えます。この安心感を忘れず、将来は人々を支えていける人になれるように努めていきます。最後になりますが、桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。

人間福祉学科 奨学生本人

**#7**

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。私の父は、昨年11月に肺がんで入院し、治療に専念することになりました。家庭の収入が大きく減ってしまいましたので、その中で私の学費の年間100万円は大きな負担となってしまいます。職場への復帰が長引くなか、復帰できない可能性も考え、なるべく経済的負担を減らしたいという想いの中、応急支援奨学金の支給をいただけることになり、家計への負担を減らせることができたと感じています。私は大学3年生になり、これからゼミ活動や就職活動が本格化していきます。今後も目白大学の学生として、学業に専念し、学んできたことを活かし社会に役立つ職業を目指していこうと考えています。桐光会の皆様のご支援のお陰で、学生を続けられることに感謝いたします。この度は本当にありがとうございます。今後の学校生活を価値あるものにし、有意義な時間を送っていけるように頑張ります。

社会情報学科 奨学生本人

**#8**

桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父の失業により、家計収入が減ったことで経済的に苦しい状況に陥ってしまいました。学費が払えるのかとても不安で、学業も続けられなくなってしまうと思うと、今までの勉強した努力や培った知識が水の泡になってしまうことから桐光会奨学金を申請させていただきました。桐光会奨学金のご支援により、金銭的な面でも精神的な面においても心に余裕が生まれて、無事に学業に専念できると思うと、一層勉学に励むことができます。桐光会の皆様のお力添えいただいたおかげで、学業の継続が可能になったので、ご期待に応えられるよう頑張ります。ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

理学療法学科 奨学生本人

**#9**

この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただきありがとうございます。母に疾患が見つかり入院手術をすることになりましたが、大学に通っている年子の弟もいるため、経済的な不安がありました。父も祖父母の介護があり、そちらに時間が取られるため、仕事を増やせず困っていたところ、こちらの奨学金を知り、申請させていただきました。おかげでイレギュラーな家庭環境にも対応していただき、抱えていた不安が払拭され、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は心理学専攻を生かした就職が出来るよう、積極的にインターンシップに参加し、沢山経験を積もうと思います。そして私の様に悩みを抱えている子がいたら相談に乗れるよう、周りに気を配りながらしっかり勉学に励みます。そして桐光会の皆様に心より感謝を申し上げます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

**#10**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。昨年、私が病気になり1年間入院したため、本来かかるはずのない費用がかかりました。退院はしたもののこれからも治療が続くため、現在はその治療費と、一人暮らしをしているため仕送りもしてもらっています。また、コロナの影響で経済的に

も余裕はなく、私も体調が万全ではないためアルバイトもしていません。アルバイトを始めて、両親への負担を少しでも減らしたいと思っていますが現在の状況では厳しいため、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、心から感謝しています。サポートしてくれる方々のためにも、夢を叶えるためにも、今後も勉学に励みます。本当にありがとうございました。

言語聴覚学科 奨学生本人

#### #11

このたびは、桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私の家庭は、母子家庭に加え弟が障がいを抱えており、生活費や授業料の支払いだけではなく、通院や入院での出費が多く、貯金が不可能な状況でした。そんな生活の中でもこれまで勉強に励んでこられたのは、母の支えと学校の先生方の支援、指導のおかげでした。今回もまた、桐光会奨学金という支援を学校からいただくことができ、非常に嬉しく思っております。今回、そしてこれまでのご恩を忘れず、勉学・大学生活を懸命に励み充実させていけるよう、日頃から精進してまいります。

言語聴覚学科 奨学生本人

#### #12

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用いただき、ありがとうございます。私が桐光会奨学金を申請した理由は、現在の学生自身のアルバイト代、保護者の収入及び日本学生支援機構の奨学金では今学期の学費を支払うことが難しい経済状況にあったことに他なりません。現在の世帯収入と被扶養者の人数が釣り合っていないだけでなく、妹の学費も納める必要があるため、経済的に非常に困難な状態であると考えられます。奨学金の採用によって、今学期の学費を納めることが可能となり、来学期以降の学費を貯めることに繋がり、経済的に余裕が生まれることが考えられます。今後の学生生活において、自身のキャリア形成のために、ボランティア活動に参加することや資格取得に向けた学習を行い、知識や技術を身につけていきたいと考えます。大学卒業後は、児童館の職員として働きたいと考えています。入学当初は、保育士や幼稚園教諭となることを目標としていました。しかし、子ども学科の講義を受講する中で、子どもに関する制度を学び、子どもの実態を知ったことで、児童福祉に興味を持つようになりました。また、児童館にてボランティア活動を行う中で、乳幼児から児童まで幅広く関わりを持ちたいと感じたため、児童館の職員となることを目標としています。この度の奨学金の採用により、勉学に励むことができます。誠にありがとうございます。

子ども学科 奨学生本人

#### #13

この度は、桐光会奨学生に採用していただきまして、誠にありがとうございます。私には、兄弟がおりそれぞれの学費や教材費などによって家計が厳しい状況にありました。しかしその一方、学業や就職活動に専念したいという思いがありアルバイトを控えていました。アルバイトを控えていたため、学費などで不安を感じるものがあつたのですが、桐光会奨学金を給付していただいたお陰で不安が減り、より一層学業や就職活動に励みたいと思うことが出来ました。私は、卒業後「多くの人の

生活を支える仕事をしたい」と思っており、そのため生活に関わる製品を取り扱う企業で会社全体をサポートする役割を担う事務職に就きたいと考えています。この目標を叶えるため、目白大学で身につけたビジネスマナーや会計知識、パソコンスキルなどを社会人になってからも活かしていきたいと思っています。今後は、今まで以上に様々なことに意欲的に取り組み、実りある学生生活にしていきたいです。また、日々の授業やイベントなど学生ならではの体験を大切に、悔いの残らないよう学生生活を楽しまたいと思っています。

ビジネス社会学科 奨学生本人

#### #14

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。今年父親が他界し、経済的に厳しい状況に陥ってしまい、学費の支払いが困難になる等さまざまな不安を抱えていました。しかし、今回採用していただいたことにより、大学での学びに集中し将来の夢である保育者になるための一歩を踏み出すことが出来ます。経済的な負担が軽減されることで、さらに充実した学生生活を送ることができると思います。今回の奨学金を受けて、私は努力と責任を持って学業に励むこととお約束いたします。改めて、今回の奨学金を採用していただき、信頼と期待に応えるよう努力して参ります。

子ども学科 奨学生本人

#### #15

私が今回桐光会奨学金に申請した主な理由は、現在私自身韓国に交換留学中であり、アルバイトすることも難しい環境にあるため、収入の少ない両親にあまり負担をかけたくないと考えたからです。私は昨年大学1年生の時、沖縄県から上京してきて親からも定期的な仕送りはもらわず、アルバイトをしながら学校に通っていました。それも親の負担を減らすために自分で決めていたことですが、月の出費を気にして節約しながら勉強することは簡単ではありませんでした。もちろんお金を節約することは大切ですが、必要以上に節約しなくてはならず、食費まで大幅に削っていたこともありすごくストレスでした。それが今年、留学という慣れない環境で学校にも通わなくてはならないので、自分のためにもお金のことでストレスを抱えてせっかくの留学生活を無駄にしたくないと思いました。今回、採用していただいたことで学業に集中することができ、現地でしかできないことを心置きなく体験できると思います。改めてお金の使い方には気を付けながら、奨学金を支援して下さった桐光会の皆様の期待にお応えできますよう、今後とも一生懸命勉学に励んでいこうと思います。また、私は将来翻訳家、または語学教師になりたいと考えています。留学を終え、大学卒業後も“生きた外国語”を学び、活用したいと思います。また、それ以上に私が学んだ韓国の文化を楽しく日本の人にも知ってもらいたい、逆に韓国の人にも素敵な日本の文化を伝えていける、日韓の架け橋になることが私の夢です。この度は、桐光会奨学金を給付していただき、本当にありがとうございます。お金のことを気にして諦めなければならぬことがこれまで多々ありましたが、それも減り、有意義な留学生活を送ることができそうです。これからも頑張ります。

韓国語学科 奨学生本人

## #16

この度は桐光会奨学金の採用、ありがとうございます。この奨学金を申請した理由ですが、私の家は母子家庭で、大学に通い続けられるほどの収入を得ることが出来なっていました。入学当初は日本学生支援機構の奨学金に加え、母が借金をし学校に通っていました。自分の収入も交通費や通信費、食費に大部分を割いており、貯蓄も全くありませんでした。桐光会奨学金に採用していただいたため、日本学生支援機構の奨学金とこれからの収入で学費を賄っていけると思います。これまでも遅刻や欠席はないように心がけ、真摯に授業に取り組んできましたが、これからは更に真摯に向き合って邁進していこうと思います。ゼミやサークル、インターンシップなど行うべき事柄、超えなければならぬ壁が幾つもありますが、真面目に楽しんで、実りある学生生活に出来ればと思います。卒業後はアパレル業界や、デザインを行える業界に進みたいと思っています。3年次からは、就活の一環として、また収入の見込める活動としてSNSを用いた写真投稿を始めました。注目度も徐々に上がっていて、これ以上ないほど順調に活動を続けています。私は大学に入学する以前からこのような活動をし、インフルエンサーになることを夢見ていました。その夢に近づけるようにこれからも活動を進めていきたいと思っています。大学に通い続けられるよう支援して下さった桐光会の皆様、本当にありがとうございました。これからの学生生活も悔いのないよう尽力して参ります。

メディア学科 奨学生本人